令和３年８月２６日
福井県地域戦略部

ＪＲ西日本長谷川社長と杉本知事の会談結果について

・並行在来線の経営分離に係る資産譲渡については、ＪＲから不要資産の撤去費分の減額や、開業後の経営支援などの提案があり、大枠を合意（基本合意）

１　並行在来線の資産譲渡に係る基本合意について　･･･　別紙

（１）資産の譲渡額について　約７０億円※

① 鉄道資産（土地、設備等）　約６０億円

・鉄道資産については、長大ホームなど不要な資産の撤去等を考慮し、譲渡額を約８４億円から約６０億円に圧縮

・福井駅高架下用地の取得により、年間約１億円の賃料収入を確保

② 営業車両　５２１系１６編成（３２両）他　約１０億円

※本県の実質負担は約３９億円

ＪＲからの資産譲渡に係る県負担については、国から４５％の交付税措置あり

（２）ＪＲ西日本からの経営支援

① 人件費負担　約４７億円（１０年間分）

並行在来線開業後のＪＲ出向者（約１７０名）人件費の約５割をＪＲが負担

② 譲渡前修繕　約１３億円

鉄道資産について、譲渡前に約１３億円規模の修繕を実施

〇ＪＲからは、資産譲渡に係る本県の実負担を超える経営支援の提案があり（実質無償）、このスキームで資産譲渡をすることで基本合意